

# 国際芸術創造研究科 新規開設授業のお知らせ(2018)

## アジア実演芸術マネジメント研究(前期)

滝口 健先生 月曜2限 上野・音楽1-4-21

「アジアにおける共同制作とネットワーキング」をテーマに、実践との連携を特に重視しながら、主に演劇分野における事例を分析・研究する方法を考える。

## 芸術経営論：芸術活動と会計(前期)

依田 俊伸先生 金曜1限 千住・3講

音楽を中心とした芸術活動を考える際に必要な会計の知識を学ぶ。特に芸術活動は、あらゆる社会活動と同様に経済行動をとまなうものであり、理念だけで実現することはできない。この講義では、会計学の基礎的な概念を理解してもらいながら、芸術活動に固有の問題も検討する。

## 文献講読演習(通年)※大学院生のみ

熊倉 純子先生 水曜3限 千住・3講

アートマネジメントに関する専門文献を、年度を通じて精読していく。  
精読を通じて、専門知識の教授・問題意識の提起を行っていく。

## キュレイトリアル&アートセオリー研究1&2(前期・後期)※大学院生のみ

(前期)アンドリュー・マークル先生 金曜2限 上野・音楽5-407

(後期)保坂 健二郎先生 金曜2限 上野・音楽5-407

Semester1 : Investigating how to relate to history/time/memory through media; investigating the museum as both universe (microcosm) and time machine; investigating intersections between culture and ideology in the case of Japan.

後期:現場の立場からミュゼオロジーとミュゼオグラフィーの基礎を教授する。

## 芸術・メディア・実践の交錯する視点1&2(前期・後期)※大学院生のみ

スティーヴン・サラザン先生 金曜4限 千住・5講

現代メディア文化や芸術に関する理論と実践を、基本文献の購読(リーディング)、プレゼンテーション(スピーキング)、ディスカッション(リスニング)、論考執筆(ライティング)という総合的な言語運営能力を高めることを通じて、さまざまな文化的観点から比較検討しながら学習する。